

進学や就職で、舞鶴を離れている家族や友人にお知らせください
舞鶴には、良い仕事があるらしい!

「舞鶴で働こう!」コーナーではこれまで、市内に拠点を置く魅力的な事業所を多数紹介してきました。このほかにも、市内には多くの特色ある事業所があります。この春、3つの就職イベントを開催しますので、ぜひ参加してください。

◆まいづるオンライン就職フェア

【日時】2月17日(出)、21日(休)
【場所】オンライン

【対象】舞鶴で働きたい人

【内容】自宅からカメラオフで気軽に参加できるオンライン企業説明会。市内事業所30社が参加。詳しくはホームページで。右下コードからアクセス可



◆まいづる Winter インターンシップ

【日時】3月19日(火)まで

【場所】市内事業所

【対象】学生など

【内容】希望する市内企業で、職場体験やインターンシップなどのプログラムに参加可能。詳しくはホームページで。下コードからアクセス可



◆まいづる春の就職フェア

【日時】3月2日(出)13時~15時30分

【場所】商工観光センター

【対象】舞鶴で働きたい人

【内容】市内事業所64社が出展する市最大規模の合同企業説明会。今回は初めて、市内公的4病院がすべて参加。詳しくはホームページで。右下コードからアクセス可



企業データ

昭和28年創業で現代表取締役社長は3代目。五老スカイタワーの建設や東体育館の改修などの建築工事のほか、土木、鉄道土木、舗装工事も手がけ、地域に密着した老舗工務店として市内の社会基盤を支えてきた。従業員数はグループ会社を含め80人で、そのうち本社勤務の20代は11人。昨年4月1日から完全週休2日制に移行し、有休消化率は84%。初任給は高卒19万円、専門・短大卒21万円、大卒22万円。年給給、職能給のほか、会社が認める国家資格を取得した場合は、3,000円~3万円の資格手当が上乘せされる。新卒者の採用が続いており、今春は3人が入社予定。



本社社屋



とお風呂に入るのが日課。休日には公園へ遊びに出かけたり、近くに住む両親に孫の顔を見せに行ったりと、プライベートも充実しているの、休み明けも

しっかり仕事に打ち込むことができます。

れからは会社を支える柱として、後輩を育てていきたいと思っています。



施工管理を手がけた市内のコーヒージョップ

株式会社田中工務店

工事の達成感が原動力

市内には製造、建設、運送、医療、福祉、情報通信、港湾に関する仕事などバランス良くさまざまな仕事があり、独自の特色を持った魅力的な事業所が約3,300も所在しています。今回はその中から、株式会社田中工務店本社・倉倉を紹介。建設業で働き方改革が進むなか、昨年からは完全週休2日制を導入(※)した同社で、公私のバランスを取りながら活躍する松田光弘さん(28)に、仕事のやりがいや働き方について聞きました。



「一から関わった工事が完成した時が一番うれしい」と話す松田さん

公共施設の建設などを手がける建築部で、施工管理を担当しています。今年で入社5年目を迎えますが、公営住宅や葬儀場の新築工事など、さまざまな現場で経験を積んできました。自分が工事に関わった建物が市内のあちこちで見られるようになり、まちづくりの一翼を担えることに喜びを感じています。施工管理の仕事は野球部の監督のようなものと考えています。

仕事の達成感

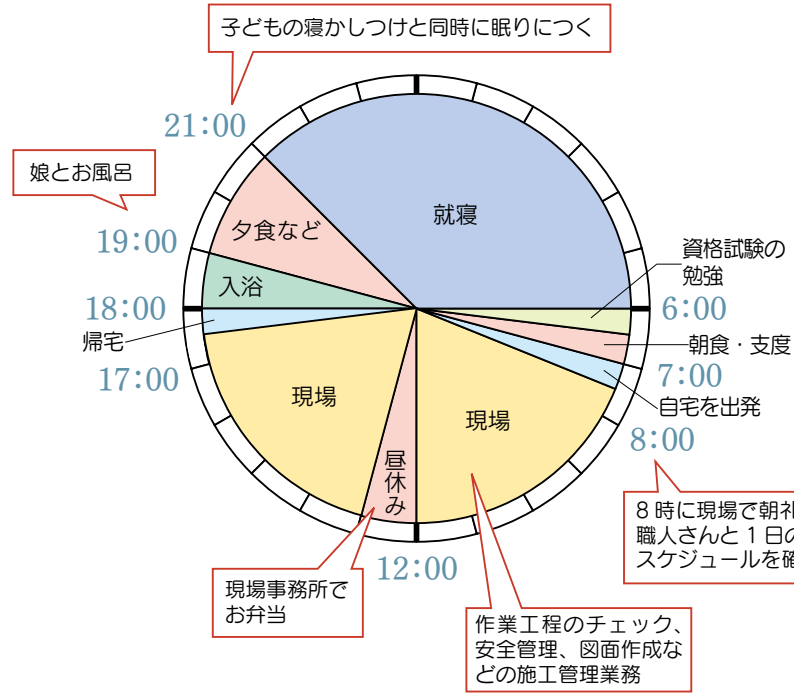
働きやすさのおかげ

施工計画の策定から現場の安全・進捗管理まで、工事全体を監督するのが私たちの役割。現場には、電気や塗装など多くの業者が入り込んでいて、多いときには数十人もの職人さんをとめなければいけないこともあります。作業でミスがないよう、職人さんと丁寧にコミュニケーションを取りつつ、工期は必ず守らなければいけないので、責任の重い仕事です。それだけに、工事が完成したときの達成感はひとしおです。

相談がしやすい職場

一番印象に残っている仕事は、入社2年目の頃、初めて1人で任されたごみ置き場の仮設工事です。発注者の要望をくみ取るのが難しく、施工計画を立てるのが苦労しましたが、先輩たちが親身になって助けてくれ、何とかやり遂げることができました。今はほとんどの現場へ1人で出ていますが、分からないことがあれば遠慮なく上司に相談

●松田さんの1日のタイムスケジュール●



します。同じ20代の社員も多いので、和気あいあいとした、話しやすい職場です。

プライベートも充実

建設業は忙しいイメージがあるかもしれませんが、残業時間は平均で月20時間ほど。特に昨年4月に完全週休2日制へ移行してからは、上司が早く帰るよう促してくれたり、工事用監視カメラを導入して現場に行く頻度を減らしたりと、働き方改革が進んでいると感じます。普段は18時頃には帰宅し、2歳の娘



休日には家族との時間を楽しむ(松田さん提供)

※働き方改革関連法に伴う労働基準法の改正により、今年4月から建設業でも時間外労働の規制が強化されることから、完全週休2日制の導入など労働環境の改善に向けた動きが進んでいます。本市でも昨年11月から、市発注の入札工事で業者側に週休2日制の導入を促す取り組みを進めており、建設業の働き方改革を後押ししています